



石崎汽船(株)新造高速船の就航開始について

現在、広島・呉～松山を結ぶ高速船スーパージェットは建造から約30年が経過しており、船体の老朽化等から新造高速船に変更し運行する旨の報告が石崎汽船よりありました。新たに新造する高速船は日本発となる「リニアジェット（推進機）」を搭載したものとなり、高騰化する燃料費の抑制及び快適性の維持等に優れたものとなります。運航開始予定は12月19日です。

(添付資料)

石崎汽船プレスリリースより抜粋

2025年11月25日
石崎汽船株式会社

石崎汽船 新高速船「リニアジェット」就航



石崎汽船株式会社（本社：松山市、代表取締役社長：清水一郎）は、松山観光港～呉・広島間を結ぶ高速船として、国内初導入となる次世代型高速船「リニアジェット」を導入いたします。当船はスーパージェットの後継船として導入するもので、快適性と環境性能を両立させた新型の高速船です。

船名は、かつて松山観光港～門司港間で活躍した高速船の名を受け継ぎ、「SeaMAX（シーマックス）」とし、2025年12月19日（金）より就航いたします。

新造船は、「リニアジェット」の採用により、高速性能を維持しながら、騒音・振動の低減と約3割の燃料消費削減を実現しました。これにより、環境に配慮し、より静かで心地よい船旅を提供してまいります。

（新造船の概要）

- 船名 SeaMAX(シーマックス)
- 航路 松山観光港～呉・広島
- 運航開始日 2025年12月19日（金）予定
- 建造造船所 瀬戸内クラフト株（本社：広島県尾道市）
- 隻数 1隻
- 購入会社 石崎汽船株式会社
- 特徴 国内初導入となる次世代型高速船「リニアジェット」は、快適性に加え、省エネ性能も向上し、高速性能を備えつつ、騒音と振動を低減。既存船に比べ約3割の燃料消費低減を図る

●新造船のスペック(既存船との比較)

	新造船	既存船
全 長	31.60m	31.50m
全 幅	7.20m	9.80m
深 さ	2.80m	3.50m
喫 水	1.50m	1.80m
総トン数	約 108 トン	約 189 トン
旅客定員	93 名	156 名
航海速力	約 27 ノット	約 32 ノット
推 進 器	リニアジェット	ウォータージェット